



2026年1月30日

各位

会社名 株式会社 Sapeet
 代表者名 代表取締役社長 築山 英治
 (コード番号: 269A 東証グロース)
 問合せ先 取締役 佐藤 琢治
 経営管理本部長
 (TEL. 03-6822-3263)

ラン活前後 2,800 人の AI 姿勢分析からみる「子どもの姿勢実態調査レポート」 ～入学前から小学校高学年にかけて表れる「猫背」の変化～

株式会社 Sapeet（本社：東京都港区、代表取締役社長：築山 英治、以下 Sapeet）は、累計 200 万回以上の AI 姿勢分析の実績を持つ「カルティ シセイカルテ」（以下シセイカルテ）において、4 歳～12 歳のデータの中から 2,800 件を抽出し、子どもの姿勢の特徴と成長に伴う変化について分析を行いました。

近年、小学校入学を前にランドセルを選び、購入する活動を指す「ラン活」が広がっています。入学前後は、ランドセルを背負って通学する習慣や学習環境の変化など、子どもの生活リズムや身体の使い方が変わりやすい時期です。そこで本調査では、小学校入学前から見られる姿勢の特徴と、学年が上がるにつれて強まりやすい変化を分析しました。

調査サマリー

- 入学前の段階から、すでに姿勢が左右どちらかに傾いた「片あがり姿勢^{*1}」が 7 割以上におよぶ
- 前後バランスが真つすぐな子どもは 2 割以下にとどまる
- 入学前の子どもの 7 割以上は、頭が前に出た「頭部前傾（ストレートネックの姿勢に近い状態^{*2}）」が見られるが、成長に伴い目立ちにくくなる傾向あり
- 10 歳～12 歳の小学校高学年では約 7 割に猫背傾向が見られ、学年が上がるにつれて背中丸まりが強くなること分かった

調査概要

- 調査対象：
 - 2023 年 7 月～2025 年 11 月の分析結果（n=4,800）から無作為に抽出
 - 4 歳～12 歳の男児 1,378 名、女児 1,422 名、13 歳～59 歳の男性 737 名、女性 1,263 名^{*3}
- 調査方法：
 - シセイカルテによる AI 姿勢分析データを活用し、立位正面、立位左側面の姿勢分析結果を抽出（下図グラフ数値^{*4}）

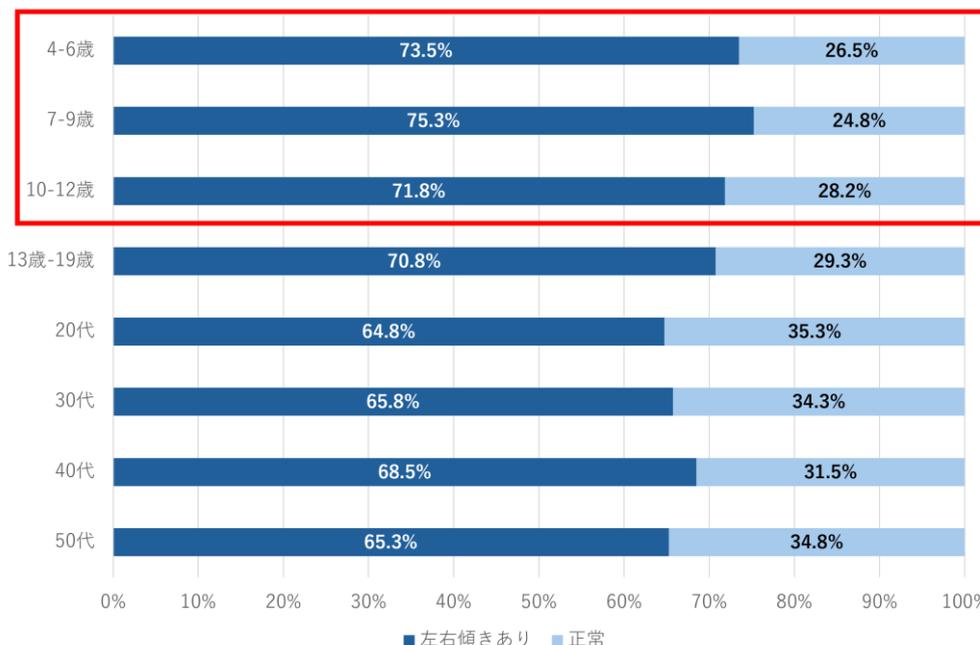


- ※1：本リリースにおける「片あがり姿勢」とは、立位正面における「全身の左右傾き」が“ずれなし”以外の状態を指します。
- ※2：本リリースにおける「ストレートネックの姿勢に近い状態」とは、医学的診断を示すものではなく、外観上の頭部前傾姿勢を指しています。
- ※3：子どもならではの姿勢の特徴を分析するにあたり、調査の一部で、13歳～59歳の男女の分析結果も使用しています。
- ※4：個人を識別、特定できない形で結果を取得し、分析しています。

調査結果

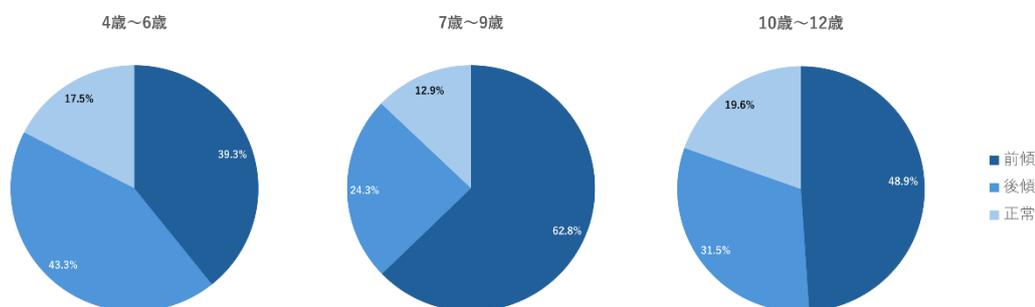
■ 入学前の段階から、姿勢が左右どちらかに傾いた「片あがり姿勢」が7割以上におよぶ

左右どちらかにわずかな傾きが見られるケースも含めて「左右傾きあり」として分析した結果、4歳～12歳のいずれの年代でも、7割以上の子どもに左右バランスの偏りが確認されました。低年齢の子どもは、関節や筋肉がまだ発達途中にあり、体を支える力が十分でないため、左右のバランスが崩れた場合、そのまま姿勢の傾きとして表れやすい傾向があります。そのため、AI姿勢分析でも低年齢期において左右傾きが見られるケースが多く確認されました。



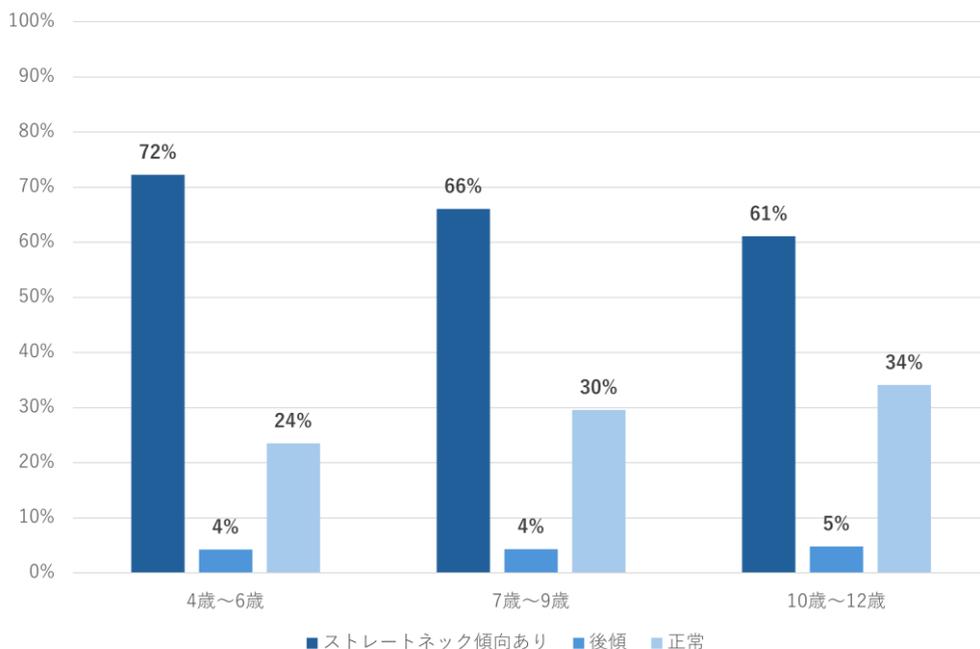
■ 前後バランスが真っすぐな子どもは2割以下にとどまる

身体の前後バランスに注目すると、いずれの年代でも「真っすぐ」と言える姿勢は2割以下にとどまり、多くの子どもに前後いずれかの傾きが見られました。特に、小学校入学後にあたる7歳以上では、前傾姿勢の割合がやや高くなる傾向が確認されました。



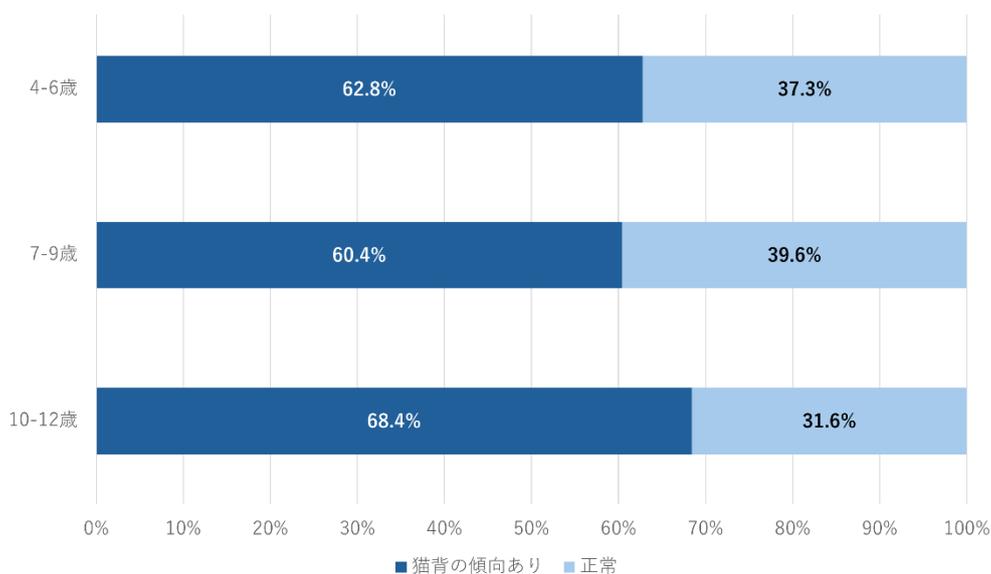
■ 入学前の子どもの 7 割以上は、頭が前に出た「頭部前傾（ストレートネックの姿勢に近い状態）」が見られるが、成長に伴い目立ちにくくなる傾向あり

頭部の前後の傾きを見ると、いずれの年代でも頭が前に出た「ストレートネックの姿勢に近い状態」が多く見られました。一方で、この頭部前傾は、成長に伴い身体のバランスや姿勢の取り方が変わること、年齢が上がるにつれて目立ちにくくなる傾向も確認されました。



■ 10 歳～12 歳の小学校高学年では約 7 割に猫背傾向が見られ、学年が上がるにつれて背中丸まりが強くなる傾向が分かった

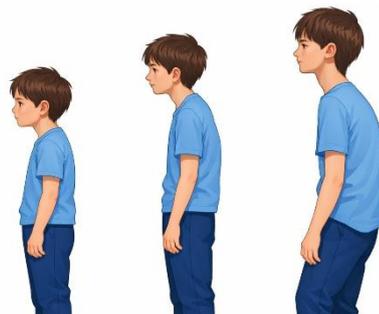
猫背傾向は、いずれの年代でも高い割合を示しましたが、特に 10 歳～12 歳の小学校高学年では約 7 割を占めました。学年が上がるにつれて背中丸まりが強くなる傾向が見られ、頭部に見られていた姿勢の崩れが、成長とともに背中や身体全体へと広がっている可能性が考えられます。



株式会社 Sapeet 理学療法士 杉山 史成からのコメント

今回の AI 姿勢分析調査では、頭が前に出ていたり、身体のバランスが崩れていたりする子どもが一定数見られました。成長とともに頭の前傾が目立ちにくくなるケースもありますが、それは必ずしも姿勢が改善したことを意味するわけではありません。身体の使い方や生活環境の変化によって、姿勢の崩れ方が別の形で表れることもあります。

ラン活という節目を、ランドセル選びだけでなく、入学後の生活の中で子どもの姿勢に目を向けるきっかけとして捉えていただければと思います。



成長に伴う姿勢の表れ方のイメージです。
体格や成長スピードには個人差があります。

まとめ

本調査では、入学前の段階から姿勢に一定の特徴が見られ、成長に伴ってその表れ方が変化していく傾向が確認されました。頭部前傾の状態から徐々に猫背として表れるケースが見られたことから、姿勢の変化は一方向ではないことがうかがえます。この結果から、姿勢はある時点の状態だけで判断するのではなく、成長の流れの中で継続的に捉えていく視点が重要であることが示されました。

今後も Sapeet は、独自の AI 技術による身体解析を通じて、人々の健康的な生活をサポートする情報を発信してまいります。

カルティ シセイカルテとは

カルティ (Kartie) は、Karte (カルテ) と tie (つなぐ) を組み合わせた造語で、カルテを通してつながりを創っていきたいという思いで名付けました。「カルティ」では、AI 姿勢分析「シセイカルテ」や接客支援カルテ「マルチカルテ」など、様々な場面でお客様と事業者様のつながりを強化する、コミュニケーション DX サービスを提供しています。

Sapeet の身体解析 AI 技術を基盤に、AI エンジニアと理学療法士などの専門家が共同で高精度な分析を実現し、鍼灸整骨院・整体院・フィットネスクラブ・パーソナルジム・歯科医院などのウェルネス業界をはじめ、様々な事業者で導入されています。

シセイカルテは、全身写真をもとに姿勢を分析し、現在の状態だけでなく、未来の姿勢の変化を可視化します。さらに、適切な改善運動の提案を通じて、ユーザーが自身の身体状態を直感的に理解し、健康的な姿勢づくりへと一歩を踏み出せる仕組みを提供しています。Sapeet はこうした取り組みを通じて、誰もが自分の身体と長く向き合い続け、健康寿命の延伸につながる基盤づくりを目指します。

シセイカルテの資料請求はこちら <https://tinyurl.com/4stvs2bp>

データの取扱いについて

本調査結果や画像をご紹介いただく際は【カルティ シセイカルテ「子どもの姿勢実態調査」より引用】と注釈の記載をお願いいたします。

株式会社 Sapeet について

Sapeet は、AI で企業独自のベテラン知見を解析し、競争優位性につながるコア業務の価値を増幅・拡張する Expert AI 事業を運営する東京大学発ベンチャーです。コミュニケーション AI や身体分析 AI を使いやすいシステムとして提供し、企業の AI×人間の協業体制構築を支援します。

会社名 : 株式会社 Sapeet
所在地 : 東京都港区芝五丁目 13 番 18 号 いちご三田ビル 8 階
代表者 : 代表取締役社長 築山 英治
上場市場 : 東京証券取引所 グロース (証券コード : 269A)
URL : <https://sapeet.com/>

当社では IR 情報のメール配信を行っております。適時開示や PR 情報のほか、決算説明会の動画配信等も予定しております。

サービス登録をご希望の方は、下記 URL または QR コードより登録をお願いいたします。

<https://sapeet.com/ir/newsletter>



当社は、ご関心をお寄せいただいているステークホルダーの皆様への公平な情報開示に、引き続き努めてまいります。